

老人クラブの活性化のために!!

～「小郡市老人クラブ連合会の明日を考える会」の取組～

●問合せ先 介護保険課高齢者サービス係 ☎72-2111 (内線454)

小郡市老人クラブ連合会(以下「市老連」)は、高齢者が自らの健康づくりと生きがいをづくりに努めると共に、閉じこもりや孤立を防ぐ友愛訪問やサロン活動、地域の見守り活動などにも取り組んでいます。また、地域貢献や生活支援の担い手としての活動も行っています。

市老連とは、市内の行政区単位で作られた老人クラブが連合(集合)した組織です。また、小学校区単位で連合(集合)した組織が、校区連合会です。

しかし、市老連に加入している老人クラブ数や会員数は、休会(老人クラブが市老連に加入しない)などの理由で、毎年減少しています。

その理由として、「老人クラブの会長や副会長などの役員になると、イベントや会議などに出席しなければならないことが多くなるために、引き受ける後継者がいない」や「まだ現役で仕事をしているため、忙しくて老人クラブ活動に参加できない」などが考えられます。

市と市老連が連携して、平成29年3月に「小郡市老人クラブ連合会の明日を考える会(以下「明日の会」)」を立ち上げ、現在、課題解決に向けた協議を重ねていますので、以下のとおり中間報告を行います。

明日の会の協議内容

●立上げ：3月22日(水)

- ★「明日の会」の発足を市老連の役員会で承認
- ★市老連、校区連合会、老人クラブの状況の意見交換
- ★「明日の会」への参加者を選出



●第1回：4月12日(水) ●第2回：4月17日(月) ●第3回：5月1日(月)

- ★市老連の現状と課題について、情報を共有するため、多角的な角度から検討を行いました。
- ★現時点では具体的な対策は考えずに、日頃から感じていることや思いを出し合いました。

- (1) 老人クラブへの入会のきっかけは？
- (2) 老人クラブの魅力、良い点は？
- (3) 老人クラブのどのような活動に参加したいですか、また魅力を感じますか？
- (4) なぜ、高齢者の若い年齢層の人たちは、老人クラブに加入しないと思いますか？

●第4回：5月15日(月)

- ★老人クラブが市老連を休会することになった経緯や理由、また、休会後の活動状況を聞き、今後の対策の検討に反映していくために、市老連を休会中の単位老人クラブの会長4人に、参加していただきました。

- (1) 老人クラブが市老連を休会または脱会することになった経緯や理由は？
 - ・70代後半～80代がほとんどで、高齢化している
 - ・市老連のイベントに参加するために、参加者の集約や、車の乗り合わせなどの手配が負担になる
 - ・役員にはなりたくないが、解散はしたくない
 - ・市老連を休会・脱会しても、地元で老人クラブの活動を継続しているところが多い



●第5回：6月21日(水)

★市老連の役員まで対象を広げて、ワークショップで意見交換を行い、市老連の課題、役割、取り組むべきことについて共有しました。(6人×4グループ=24人参加)

(1)なぜ、老人クラブは、市老連を休会するのだろうか？

- ・役員のなり手がいない
- ・市老連に魅力がない、加入のメリットがない
- ・行事が多い、参加への負担感がある
- ・世代間の価値観の違い、若い人の新規加入がない

(2)老人クラブに求められることは、何だろう？

- 魅力ある老人クラブづくりについて
 - ・新規会員に対して、入って良かったと思われるような組織(雰囲気)づくりを行う
 - ・地域の皆さんとの絆を大事にする
 - ・役員の仕事は、みんなで分担して行う
- 魅力ある校区連合会づくりについて
 - ・老人クラブ同士の交流、情報交換を行う
 - ・休会、退会した老人クラブの再加入支援、休会中の老人クラブとの連携を行う
 - ・まちづくり協議会、ふれあいネットワーク、民生委員との連携を強化する
- 魅力ある市老連づくりについて
 - ・老人クラブ、校区連合会の活動支援や情報提供を行う
 - ・老人クラブで行うことが困難なことに、重点を置き実施する
 - ・老人クラブの育成、担い手の育成をする
 - ・行事の見直し、行事を減らしてみる



●第6回：7月14日(金)

★今後、市老連の活性化に向けた対策や活動の見直しを行い、基本となる活動理念やスローガンを決定しました。

(1)「市老連のあるべき姿」とは？(活動理念・スローガン)

- スローガン【高齢者の尊厳が守られる社会づくり】
 - ①居場所づくり(生きがい、やりがい、自己実現)
 - ②仲間づくり(つながり、ふれあい、情報共有)
 - ③地域づくり(社会貢献、支え合い、ボランティア)
 - ④健康づくり(健康長寿、介護予防、スポーツ)

(2)今後の活動の視点について

- ・各老人クラブの活動を市老連全体の基盤としていこう
- ・市老連と老人クラブの役割を明確化しよう
- ・無理をせず、楽しく活動しよう
- ・役員だけに任せるのではなく、次世代育成と負担の軽減を考えよう
- ・未加入の人や、退会した人とのつながり方を考えよう
- ・他の地域活動(ふれあいネットワーク活動など)との関わり方を考えよう



●第7回：7月31日(月) ●第8回：8月10日(木) ●第9回：8月25日(金)

★基本となる活動理念やスローガン、今後の活動の視点を念頭に置きながら、具体的な見直しの検討を開始しました。

(1)市老連、校区連合会、老人クラブの活動の見直し

- ①事業や活動の内容や回数等の見直し
- ②組織体制の見直し
- ③財政面の検討



今後も引き続き「明日の会」で協議を重ね、市老連の活動に反映できる意見を取り込むことで、老人クラブの活性化につなげていきます。